



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31: 3~4)」



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
- ホームページ：<http://eli.holy.jp> ●メール：eternalloveisrael@gmail.com
- 銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル

代表：宮本 純子

☆ 東京での仮庵の祭り

宮本 純子 ☆



ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。

愛するみなさま。いつもお祈りと尊い献金でエターナル・ラブ・イスラエルを支えてくださり本当にありがとうございます。心から感謝致します。

今年の仮庵の祭りは、10月13日の日没から20日までお祝いされました。仮庵の祭り(スコット)は、出エジプトの時、荒野で天幕、つまり仮庵を建てて住んだことになみえます。今でもユダヤ人たちは、ベランダやあちこちで仮庵を建てて木の枝を乗せて飾り付けもします。その仮庵の下で集まって過ごします。私も、たくさんのユダヤ人たちと一緒に仮庵で美味しい手作りのお寿司やお料理を頂き楽しくお祝いしました。アメリカからユダヤ教の神学校に通っている青年も来ていました。私は、クリスチャンとして証しながら彼らと親しくさせて頂いています。



「あなたがたが、地の産物を集め終ったときは、七月の十五日から七日のあいだ、主の

祭を守らなければならない。すなわち、初めの日にも安息をし、八日目にも安息をしなければならない。初めの日に、美しい木の実と、なつめやしの枝と、茂った木の枝と、谷のはこやなぎの枝を取って、七日の間あなたがたの神、主の前に楽しまなければならない。あなたがたは年に七日の間、主にこの祭を守らなければならない。これはあなたがたの代々ながく守るべき定めであって、七月にこれを守らなければならない。あなたがたは七日の間、仮庵に住み、イスラエルで生れた者はみな仮庵に住まなければならない。これはわたしがイスラエルの人々をエジプトの国から導き出したとき、彼らを仮庵に住ませた事を、あなたがたの代々の子孫に知らせるためである。わたしはあなたがたの神、主である』。モーセは主の定め祭をイスラエルの人々に告げた。」(レビ記 23:39~44)



御言葉にあるように、ルーラブという枝とエトログという木の実を取って主の御前で楽しみますので、彼らは街の中でもずっとルーラブとエトログを手を持って歩いていました。自転車につないだ移動式の仮庵も登場し、どこにいても仮庵の祭りをお祝いしていました。

イスラエルではもちろんですが、日本の東京にいてもこのようにユダヤ人たちは、聖書の御言葉に従って、忠実に主の例祭を守っています。しかし、救い主であるイエス様のことを信じていません。彼らが救われたらどんなに素晴らしいことでしょうか。

神様の御心にかない、どうか、彼らの霊的な目が開かれて救われますようにお祈りください。



☆エルサレム・デザイン・ウィーク「エデンの園」最高賞を受賞☆



「エルサレム・デザイン・ウィーク」の作品『エデンの園』が最高賞を受賞！

10月18～27日に開催された「エルサレム・デザイン・ウィークxDESIGNART TOKYO 2019」の作品の一つである『エデンの園』（スパイラルガーデン/東京都港区南青山）が、同イベントの最高賞である“BIG EMOTIONS AWARD”を受賞しました！

「DESIGNART TOKYO」は、世界中のインテリア、アート、ファッション、フードなどがジャンルを超えて集結、東京の街全体がミュージアムになるイベントで、イスラエルが今年のパートナーカントリーに選ばれ、海外初進出となる東京では、2カ所（スパイラルガーデンとAYUMI GALLERY/神楽坂）でイベントを開催しました。

10月24日、記念レセプションが行われ、私も招待され出席しました。大勢のユダヤ人が集まりました。女優の鶴田真由さんによる詩の朗読とヤッファ・ベン・アリ駐日イスラエル大使の挨拶もありました。

ゼエヴ・エルキン エルサレム遺産大臣が、エルサレムの神殿の丘とシロアムの池がつながっている地下の遺跡が発見された話をしてくださり、発見された貴重なコインも見せてくださいました。そして詩篇 84 編のみことばも読んでくださいました。

「万軍の主よ、あなたのすまいはいかに美しいことでしょう。わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、わが心とわが身は生ける神にむかって喜び歌います。すずめがすみかを得、つばめがそのひなをいれる巢を得るように、万軍の主、わが王、わが神よ、あなたの祭壇のかたわらにわがすまいを得させてください。あなたの家に住み、常にあなたをほめたたえる人はさいわいです。その力があなたにあり、その心がシオンの大路にある人はさいわいです。彼らはバカの谷を通っても、そこを泉のある所とします。また前の雨は池をもってそこをおおいます。彼らは力から力に進み、シオンにおいて神々の神にまみえるでしょう。万軍の神、主よ、わが祈をおきください。ヤコブの神よ、耳を傾けてください。神よ、われらの盾をみそなわし、あなたの油そそがれた者の顔をかえりみてください。あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日にもまさるのです。わたしは悪の天幕にいるよりは、むしろ、わが神の家の門守となることを願います。主なる神は日です、盾です。主は恵みと誉とを与え、直く歩む者に良い物を拒まれることはありません。万軍の主よ、あなたに信頼する人はさいわいです。」(詩編 84:1～12)

10月26日、授賞式がスパイラルで行われ、全出展者 300 以上のブランドやクリエイターの中から、最優秀 3 組に与えられる“BIG EMOTIONS AWARD”が発表されました。クロージング・

パーティーではイスラエルの国民的シンガーDIKLAによるライブパフォーマンスも披露されました。期間中は、大盛況で素晴らしい展覧会

でした。イスラエルのアートの魅力を改めて感じました。ありがとうございました。



☆多くのユダヤ人を救った樋口季一郎☆



11月18日、私は樋口季一郎の孫であり、明治学院大学名誉教授の樋口隆一氏の講演会「1938年頃の日本におけるユダヤ政策と樋口季一郎」に出席しました。

多くのユダヤ人を救った陸軍中佐、樋口季一郎は、明治21年淡路島の生まれ。大阪陸軍地方幼年学校から中央幼年学校、陸軍士官学校へと進み、陸軍大学校を経てウラジオストック特務機関員、ポーランド公使館付武官、歩兵第41連隊長(福山)などを歴任。ロシア問題を専門とする「情報将校」としての軍歴を歩む。昭和12年、ハルビン特務機関長に就任。

杉原による「命のビザ」の2年前にあたる昭和13年3月、ソ満国境の地・オトポールに逃

れてきたユダヤ難民に対し、樋口季一郎は特別ビザを発給するよう満州国に指導。多くのユダヤ難民の命を救った。これが「オトポール事件」である。

オトポール事件後の樋口は、アッツ島玉砕、キスカ島撤退、さらには占守島の戦いと、日本の歴史を左右する大きな戦闘を指揮。アッツ島の戦いでは、東京の上層部が救援部隊の派遣を断念した結果とは言え、樋口は「最初の玉砕戦の司令官」となった。一方、キスカ島ではアメリカ側から「パーフェクトゲーム」と呼ばれるほどの見事な撤退戦を成功させた。また、もし占守島の戦いでソ連軍の奇襲に敗れていたら、北海道は分断されていた可能性が高い。樋口季一郎は、それほど先の大戦において重要な役割を担った人物だった。昭和45年10月、老衰のため死去。享年82才。

孫である樋口隆一氏が今年初めてイスラエルを訪問し、「ヒグチ・ビザ」によって救出された方のご遺族と歴史的な対面を果たした。樋口隆一氏の専門は西洋音楽史で、コンサートも指揮をされる。家族相関は、季一郎の長男、季隆の息子。

☆樋口隆一先生、この度は、樋口季一郎の遺した多くの原稿や当時の貴重な新聞記事、新たな史料や証言などを語ってください、本当にありがとうございました。



☆第7回イスラエル・ユダヤ文化検定を受験☆



10月25日、第5回「ユダヤ文化を学ぶ会」に出席しました。講師は、中央学院大学教授の黒川知文氏です。今までに開催されたイスラエル・ユダヤ文化検定の試験問題の過去問や解説をしてくださいました。

会場は満員の状態で、多くの方が真剣に学ばれていました。

私は、今年4月からみどり野キリスト教会 Jesus Family のハレルヤインターナショナルチャーチスクールの中高生に月1回、イスラエル講座をさせて頂いています。これは、本当に感謝なことで、私もイスラエルを基礎

から学ばせて頂いています。改めて、西村内弘先生、貴重な機会を与えてくださり、本当にありがとうございます。

今回、初めて「イスラエル・ユダヤ文化検定」のことを知りました。この試験問題の作成、採点、合否判断は、市川裕氏(東京大学教授)、池田明史氏(東洋英和女学院大学学長)、黒川知文氏(中央学院大学教授)なので、かなり難易度の高い試験です。日本、イスラエルそして世界は瞬時、動き、変化し、歴史を作っています。常にイスラエル情勢、中東情勢、世界情勢を注視する必要があります。イスラエル・ユダヤの歴史や文化、宗教、地理、環境、芸術などあらゆる知識を学ぶことは、ユダヤ人伝道をしていく上でもとても大切なことだと思いました。

11月30日、第7回「イスラエル・ユダヤ文化検定」を受験しました。受験者は、私を含めて42名でした。大学生がほとんどでしたが、イスラエルに興味、関心を持つ人が大勢いることを改めて思わされました。

☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)



- 神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心だけが成ります様に。
- イスラエルの国政政治、国内情勢のためにお祈りください。
- トランプ大統領、ネタニヤフ首相はじめ、世界中の政治的指導者たちが救われて、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を平和に進めて行く事が出来ます様に。
- 日本とイスラエルを結ぶ直行便によって、更に日本の政治・文化、あらゆる面で交流が盛んになり祝福されますように。

- イスラエルに対するあらゆる攻撃、又、テロ等が起こらない様にお守りください。
- イスラエルの周辺諸国との関係のために。シリア、ヨルダン、エジプト、イラン、イラク、トルコ、レバノンなどの各国との関係を神様が最善に導いてくださいますように。
- パレスチナ問題のために。和平プロセスを神様が最善に導いてくださいますように。
- フランス、イギリス等は、反ユダヤ主義の動きが強まっていますが、正しい聖書理解の上に立ち、ヨーロッパから反ユダヤ主義がなくなります様に。又、国連とEUが真に公正、公平な機関になります様に。
- 世界中に住んでいるユダヤ人に福音が伝えられ、全てのユダヤ人がイエス様を信じて救われます様に。
- イエス様を信じているメシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエルがリバイバルされます様に。又、日本がリバイバル、世界中がリバイバルされて、神様の御心がこの地に成ります様に。
- 在日ユダヤ人、又、日本を訪問し滞在するユダヤ人にトラクトも用いられ、多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われます様に。その為に私達が情熱を持って、神様の愛でおもてなしをし、伝道する事が出来ます様に用いて下さい。又、ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者達が起こされます様に。
- 日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

☆お知らせ☆

- 2020年1月11日(土) LCJE 日本支部 東京 & エターナル・ラブ・イスラエル合同祈り会
☆会場: 御茶ノ水クリスチャンセンター8階 811号室 ☆午後1時30分から
「永遠の愛でイスラエルを愛する」 宮本 純子
☆皆さまとお会いできるのを楽しみにしています。ぜひいらしてください。



- 1月14日~19日 第8回横浜開港アンデパンダン展(横浜市民ギャラリー)に宮本純子の作品を出展します。
- 愛するみなさま、2019年もエターナル・ラブ・イスラエルの働きのためにご支援とお祈りをくださり、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。素晴らしい主の祝福と愛で満ちあふれるクリスマスと輝かしい2020年をお迎えください。2020年も主と共に歩んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。
- 2020年も愛するみなさまの上に主の祝福が豊かにありますよう心よりお祈り申し上げます。

2020年1月冬号発行(季刊誌)